

“鍛えて、ほめて、伸ばす！子どもの可能性”

～「鍛ほめ福岡メソッド」展開中！～



福岡教育事務所・社会教育室

親子で楽しむ簡単「ミニピザ」づくり

～筑紫地区家庭教育支援チームちくしフレンズ～

令和元年8月に開催された「みそだまづくり」に続き、令和元年12月26日（木）、「春日市ふれあい文化センター」において、家庭教育支援チームちくしフレンズ主催による「親子で楽しむ簡単『ミニピザ』づくり」が開催されました。今回は、ギョウザの皮を使った「ミニピザ」を親子一緒に、ホットプレートを用いてつくる体験活動です。保護者9名、子ども18名、合計27名の参加でした。

二人の講師とともに、チーズやトマト、コーン、ピザソースなどをギョウザの皮にのせてホットプレートで焼き上げる簡単なミニピザづくりの活動を行いました。保護者からも、「子どもとともに活動を行うことができ楽しかった。」という感想が複数ありました。さらに、社会教育主事がミニゲームとともに行った講話「簡単アイスブレイク」においても「外遊びなどの体験活動や小さな時の子どもと大人の関わりが大切なことがわかり、より気を付けていきたい。」や「子どもとの関わりや大切にしなければならないことを簡単簡潔に聞いたのでとてもよかった。」などの感想があり、保護者へ今後の子育ての一つの具体例を提案することができたようでした。

●講師（調理）：

- ・北川 みどり 氏（料理研究家・食育指導師・味噌ソムリエ）
- ・田中 さえ子 氏（ちくしフレンズコーディネーター・元公立小学校養護教諭）



「子どもと大人の関わりを、
もっと大切にしていきたい！」

前回同様、小さなお子さんがある保護者の方が参加できるように、そして集中して活動に取り組むことができるように、講話中や活動中に小さなお子さんの見守りをチームちくしフレンズの「子育てマイスター」が行いました。また、ミニピザをつくったあとも、ゆっくり食えることができるように、30分間の茶話会の時間をとりました。保護者から「素敵な時間をありがとうございました。」や、子どもたちから「楽しかったので、またいっぱい来たい。」という感想があり、親子が意欲的に楽しく活動に参加することができました。